

施設向け

令和3年11月



感染対策レター 第12号

川崎市健康福祉局 感染症対策課 TEL: 044-200-2343
Email: 40kansen@city.kawasaki.jp

市内の感染状況は落ち着いています ワクチン接種も順調

日本の新型コロナウイルス感染者数は減少し、川崎市でも同様に、11月以降、一日当たりの感染者数は10名以下と低水準を維持できています。また、ワクチン接種は順調に進み、市民の接種率は80%に達しました。

<川崎市 全対象者の接種率>

<高齢者（65歳以上）の接種率>



※括弧内は全市民を分母とした接種率

(11月8日現在)

一方で、海外では感染が再拡大している国もあります。市内の病院や施設でクラスターも起こっています。

市内病院や施設でクラスター発生！

ワクチン接種済みの方が多いい病院や施設でも、クラスターが発生しています。ワクチン接種から時間がたって感染防御効果が下がり、**ブレイクスルー感染**が起きています。一般に、ブレイクスルー感染は軽症の場合が多いとされますが、病院や施設は、高齢者や基礎疾患を有する「ハイリスク者」が多く、感染者が増加すると重症者も増加する恐れが高いです。東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議の資料では、第5波のピーク時重症者の1/3は60歳以上の高齢者でした。

～ブレイクスルー感染の特徴～

- ・症状が比較的軽い、または無症状のため発見が遅れる恐れがある
- ・検体中のウイルス量はワクチン未接種感染者のウイルス量と同等（他人に感染させる力は変わらない）

軽い咳など、いつもと違う症状があれば、速やかに医師に相談しましょう。
症状がある人は、まずは抗原検査を実施してみてください。

基本的な感染対策をもうしばらく続けましょう

ワクチンを接種したこと、感染状況が落ち着いてきたことで、安心してマスクをつけずに食事をして騒いでしまうなど、基本的な感染対策が緩んでいる場面はありませんか？
もうしばらく基本的な感染対策を続けましょう。

ケアで特に注意が必要な場面

食事介助や口腔ケア時は感染リスクが高まる！

介助者は入所者の前面ではなく、側面に座り状態を後ろに引くか、唾液などが飛ばないように方向に体を反らすなどします。



介護職員のための感染対策マニュアル
厚生労働省より

感染リスクが高まる場面を避けよう

これから忘年会シーズン・・・

感染リスクが高まる「場面」



飲酒を伴う懇親会等は飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下し、大きな声になりやすいです。
例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まります。

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

- ・飲酒するのであれば、
 - ①少人数・短時間で、
 - ②なるべく**普段一緒にいる人**と
 - ③深酒・はしご酒などはひかえ、**適度な酒量**で。
- ・箸やコップは**使いまわさず**に一人ひとりで。
- ・座の配置は**斜め向かい**に
(正面や真横はなるべく避ける)
- ・適切な換気など、**ガイドラインを遵守しているお店**で
- ・**体調が悪い人は参加しない**

会話の時はマスク着用！



参考資料: 内閣官房 感染拡大特設サイト
<https://corona.go.jp/proposal/>
「感染リスクが高まる 5つの場面」